

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 1 の 11

1 化学品及び会社情報

製品識別名

P250

物質または混合物の従来から確認された用途、および使用を差し控えるようにアドバイスする用途

用途

接着剤、密封材

安全データシート作成者の詳細

会社名称: Hottinger Brüel & Kjaer
街路名: Im Tiefen See 45
住所: D-64293 Darmstadt
電話番号: +49 (0)6151 803-0
インターネット: www.hbm.com
担当部門: support@hbm.com

警察署・消防署への非常通話番号: +49-30-18412-0

2 危険有害性の要約

物質または混合物の分類

EC 規制 No. 1272/2008

危険有害性カテゴリー:

引火性液体: 引火性液体 2

呼吸器感作性または皮膚感作性: 皮膚感作性 1

危険有害性情報:

引火性の高い液体及び蒸気。

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

ラベル要素

EC 規制 No. 1272/2008

ラベルに表示されなければならない有害成分

methenamine; hexamethylenetetramine

注意喚起語: 危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H225 引火性の高い液体及び蒸気。

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

危険の予防

P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

P280 保護手袋/防護衣/保護眼鏡/保護面/防音保護具/を着用すること。

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 2 の 11

特別調合剤の例外ラベル

専門的な使用者に限定。

Labelling of packages where the contents do not exceed 125 ml

注意喚起語:

危険

危険有害絵文字:



危険有害性情報

H317

危険の予防

P261-P280

他の危険有害性

情報は何もない。

3 組成及び成分情報

混合物

危険有害成分

CAS番号	化学名	数量
	GHS 分類	
100-97-0	methenamine; hexamethylenetetramine	1 - < 5 %
	Flam. Sol. 2, Skin Sens. 1; H228 H317	
108-95-2	phenol; carboic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	< 1 %
	Muta. 2, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Acute Tox. 3, Skin Corr. 1B, STOT RE 2; H341 H331 H311 H301 H314 H373	

HおよびEUH条項の表記: 16章を参照すること。

SCL、M-factor 及び/又は ATE

CAS番号	EC番号	化学名	数量
		SCL、M-factor 及び/又は ATE	
108-95-2	203-632-7	phenol; carboic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	< 1 %
		吸入: 急性毒性の推定 = 3 mg/l (蒸気); 吸入: 急性毒性の推定 = 0,5 mg/l (塵/ミスト); 経皮: 急性毒性の推定 = 300 mg/kg; 経口: 急性毒性の推定 = 100 mg/kg Skin Corr. 1B; H314: >= 3 - 100 Skin Irrit. 2; H315: >= 1 - < 3 Eye Irrit. 2; H319: >= 1 - < 3	

詳しい情報

情報は何もない。

4 応急措置

必要な応急手当の記述

一般情報

当事者を、危険区域から連れ出し、寝かせること。意識不明だが呼吸している場合には、回復体位を取らせる

と共に医学的助言を仰ぐこと。応急処置: 自己防護に留意すること!

P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 3 の 11

吸い込んだ後に

疑わしい場合は必ず、または、症状が現れている場合は、医師に相談すること。

新鮮な空気を入れること。

気道に刺激がある場合は、医者にかかること。

皮膚に付着した後に

皮膚に触れた場合、直ちに多量の水 かつ せっけんで洗い流すこと。汚れが付着し、濡れた衣服は、直ちに脱衣すること。皮膚に刺激がある場合は、医者にかかること。

目に付着した後に

眼に触れたときは、直ちに、瞼を開けた状態で10～15 minの間、眼を流水で洗浄し、眼科医の診察を受けること。

葛下後

直ちに口をすすぎ、たくさんの水を飲むこと。被災者が意識不明かまたは痙攣症状がある場合は、決して口から物を与えないこと。無理に吐かせないこと。

最も重要な症状および作用、急性および後発性

情報は何もない。

緊急治療および特別処置が必要な兆候

情報は何もない。

5 火災時の措置**消火剤****適切な消火剤**

水のジェット噴霧, 乾式消化剤, 泡

使ってはならない消火剤

棒状注水

物質または混合物特有の危険有害性

高い可燃性。

蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成し得る。

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

消防士のための事前注意事項

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

消火対策を、周辺地域に適合するよう調整すること。

追加の指摘

危険区域では、従事者の保護と容器冷却のため、水を霧状に噴射すること。ガス/蒸気/霧は、水を霧状に噴射して沈降させること。汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。

6 漏出時の措置**人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置****全般的な注意事項**

すべての発火源を除去すること。十分に換気すること。ガス/煙/蒸気/エアロゾルを吸い込まないこと。皮膚、眼、衣服との接触を避けること。個人用の保護具を使用すること。個人用の保護具を使用すること。下

P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 4 の 11

水道、あるいは自然水系に流入させないこと。その受け入れた物質は、廃棄物処理の章に従って、取り扱うこと。十分に換気すること。

環境に対する予防措置

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。
製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

封じ込めおよび浄化方法と機材**その他参考となる事項**

機械で拾い上げ、適切な容器に入れて、処理に持っていくこと。液体を凝固させる材質（砂、珪藻土、酸結合剤、万能接着剤）を用いて、取り除くこと。

他のセクションを参照

安全取扱い: 参照箇所 節 7
個人用保護具: 参照箇所 節 8
廃棄物処理: 参照箇所 節 13

7 取扱い及び保管上の注意**安全な取扱いのための予防措置****安全取り扱い注意事項**

一ヶ所での吸引が不可能もしくは不十分ならば、可能な限り作業区域の換気をよくすることが、保障されるべきである。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。

火災および爆発防護に関するアドバイス

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。換気が不十分な場合および/あるいは使用することにより、爆発性の/発火しやすい混合物発生可能性がある。

扱いに関する追加情報

人身用防護装備を身に付けること (第8章を参照)。下水道に流入させないこと。職場では、飲食、喫煙、鼻をかむことはしないこと。

配合禁忌等、安全な保管条件**倉庫と容器の需要**

容器は密閉し、換気のよい場所で保管すること。
下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。
製品は、検査せずに環境中に放出してはならない。

共同貯蔵に関する注意事項

TRGS 510

保管状態に関する追加情報

容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置**管理パラメーター**

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 5 の 11

物質の許容濃度 (日本産業衛生学会)

CAS番号	物質名	ppm	mg/m ³	繊維/ml	範疇	起源
108-95-2	フェノール; Phenol	5	19		許容濃度	皮

生物学的許容値 (日本産業衛生学会)

CAS番号	物質名	物質	生物学的許容値	試料	試料採取時期
108-95-2	フェノール; Phenol	総フェノール (遊離体, グルクロン酸抱合体, 硫酸抱合体)	250 mg/g·Cr	尿	作業終了時

極限值に関する追加説明

情報は何もない。

曝露防止



適切な工学的制御

包装していない製品を取り扱う際は、できる限り局所吸引を備えた装置を使用しなければならない。

使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生可能性がある。

防爆型の電気機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

保護・衛生対策

作業時には、飲食をしてはならない。

ガス/煙/蒸気/エアロソルを吸い込まないこと。

皮膚に接触した場合、汚れて濡れた衣服を直ちに脱いで、多量の水とせっけんで洗い流すこと。

適切な保護衣/保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

皮膚を保護するための計画を作成し、遵守すること！

眼/顔面用の保護具

保護メガネ/顔面保護具を着用すること。

手の保護具

化学物質を取り扱う際には、4桁の検査番号を含むCE表示のついた化学物質用保護手袋に限り、着用しなければならない。EN ISO 374

化学物質用保護手袋は、職場で扱う危険物質の濃度や量に応じて、適したものを選ばなければならない。

手袋の材質の厚さ: $\geq 0,7\text{mm}$

適切な手袋の種類 NBR (ニトリルゴム)

破過時間: $>480\text{ min}$

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 6 の 11

皮膚の保護

- 使用した作業服は、作業場所の外で着用するべきではない。
- 作業服は分けて保管すること。
- 靴および作業着は、帯電防止加工のものを着用すること。

呼吸器の保護

- 技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。フィルターをついた濾過装置（全面マスク、または口当て）：a

環境における露出管理

- 下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。
- その製品の蒸気は空気よりも重いので、床の上、坑、下水道や地下室の中に、高濃度で溜まり得る。

9 物理的及び化学的性質**基礎物理および化学特性の情報**

物質の状態:	粘性のある
色:	黄色
臭い:	新鮮な果実のような香りの
pH値:	確定されていない

状態の変化

融点/融解範囲:	確定されていない
沸点また初留沸点及び沸騰範囲:	78 °C
昇華点:	確定されていない
軟化点:	確定されていない
流動点:	確定されていない
確定されていない:	
引火点:	12 °C
可燃性の継続:	データなし

引火性

固体/液体の:	確定されていない
ガス:	確定されていない

爆発特性

- 使用の際、爆発性の/発火しやすい蒸気-空気-混合物発生可能性がある。

爆発下限:	確定されていない
爆発上限:	確定されていない
発火点:	400 °C

自然発火温度

固体:	確定されていない
ガス:	確定されていない
分解温度:	確定されていない

酸化特性

- 確定されていない

P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 7 の 11

蒸気圧:	58 hPa
(で 20 °C)	
蒸気圧:	確定されていない
(で 50 °C)	
密度 (で 20 °C):	確定されていない
仮比重:	確定されていない
水溶性:	確定されていない
溶媒に対する溶解性	
確定されていない	
n-オクタノール/水分分配係数:	確定されていない
絶対粘度:	確定されていない
動粘度:	確定されていない
流出時間:	確定されていない
相対蒸気密度:	確定されていない
蒸発速度:	確定されていない
溶剤分離試験:	確定されていない
溶剤の成分:	60,00 %
その他の情報	
固形分濃度:	3,90 %

10 安定性及び反応性

反応性

情報は何もない。

化学的安定性

この物質は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応性の可能性

規定に従って取扱い及び貯蔵される場合、有害反応はない。

避けるべき条件

情報は何もない。

不適合物質

情報は何もない。

危険有害性のある分解生成物

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

11 有害性情報

毒性情報

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 8 の 11

急性毒性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

ATEmix 算出した

急性毒性の推定 (経口の) 33333,3 mg/kg; 急性毒性の推定 (皮膚の) 100000,0 mg/kg; 急性毒性の推定

(吸い込んで 蒸気) 1000,00 mg/l; 急性毒性の推定 (吸い込んで 塵/ミスト) 166,667 mg/l

CAS番号	化学名				
	曝露の経路	投与量	種	源泉、出典	方法
108-95-2	phenol; carboic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol				
	経口の	急性毒性の推定 100 mg/kg			
	皮膚の	急性毒性の推定 300 mg/kg			
	吸い込んで 蒸気	急性毒性の推定 3 mg/l			
	吸い込んで 塵/ミスト	急性毒性の推定 0,5 mg/l			

刺激性及び腐食性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

感作性影響

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。(methenamine; hexamethylenetetramine)

生殖における発ガン性/変異原性/有毒性の影響

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (単回暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

特定標的臓器毒性 (反復暴露)

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによれば、分類基準が満たされていない。

動物実験における具体的な結果

情報は何もない。

テストに関するその他のインフォメーション

情報は何もない。

実務での験

情報は何もない。

詳しい情報

情報は何もない。

12 環境影響情報

毒性

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 9 の 11

情報は何もない。

CAS番号	化学名					
	水生有毒	投与量	[h] [d]	種	源泉、出典	方法
108-95-2	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol					
	藻類毒性	ErC50 mg/l	229	72 h	GESTIS	

残留性と分解性

情報は何もない。

生物蓄積性

情報は何もない。

n-オクタノール／水分配係数

CAS番号	化学名	Log Pow
108-95-2	phenol; carbolic acid; monohydroxybenzene; phenylalcohol	1,5

土壌中の移動度

情報は何もない。

その他の有害な影響

情報は何もない。

13 廃棄上の注意

廃棄物処理方法

廃棄の勧告

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

14 輸送上の注意

海上輸送 (IMDG)

UN番号: UN 1133

正式の国連輸送名: Adhesives

輸送における危険有害性クラス: 3

包装等級 (P G): III

危険物ラベル: 3



特別な設備: 223, 955

量制限: 5 L

微量: E1

EmS: F-E, S-D

空輸 (ICAO-TI/IATA-DGR)

UN番号: UN 1133

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 10 の 11

正式の国連輸送名: Adhesives

輸送における危険有害性クラス: 3

包装等級 (P G) : III

危険物ラベル: 3



特別な設備: A3

量制限-乗客: 10 L

Passenger LQ: Y344

微量: E1

IATA梱包方指示-乗客: 355

IATA最大数量-乗客: 60 L

IATA梱包指示 (貨物機): 366

IATA最大数量 (貨物機): 220 L

環境危険有害性

環境に有害である: いいえ

MARPOL 73/78 の付属文書 II および IBC Code に準拠するバルク輸送

IBCコードによるばら積み輸送を行ってはならない。

15 適用法令

物質または混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律

国内規定情報

従業員制限: 若年層への従業員制限に注意する。
妊婦及び授乳中の母親の従業員制限に注意する。

水に与える有害性等級 (ドイツ): 1 - 水の汚染力は弱い

16 その他の情報

変更

このデータシートは次の項目の以前のバージョンからの変更を含んでいる: 2,11.

GHSによる混合物の等級分類および適用した評価法

分類	分類方法
Flam. Liq. 2; H225	試験データを基にした
Skin Sens. 1; H317	算出方法

HおよびEUH条項の表記(番号および全文)

H225 引火性の高い液体及び蒸気。
H228 可燃性固体。
H301 飲み込むと有毒。
H311 皮膚に接触すると有毒。
H314 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷。

安全データシート

EU規定No. 1907/2006に拠る



P250

加工された日付: 14.09.2022

ページ 11 の 11

H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H331	吸入すると有毒。
H341	遺伝性疾患のおそれの疑い。
H373	長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

(危険成分に関するデータは、事前供給者からの最新の安全データシートから取得されました。)